

習志野の地にて



説明に耳を傾ける参加者



隊員食堂にて体験喫食



神奈川出身隊員と意見交換 1



神奈川出身隊員と意見交換 2



集合写真



熱心に説明を聞く参加者



概要説明に釘付け

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、10月28日（水）、習志野駐屯地に所在する第1空挺団において、横浜出張所募集相談員8名の部隊研修支援を行った。

当日は、心地よい秋晴れの中、他の研修団体も多く訪れており、改めて第1空挺団の注目の高さを垣間見ることができた。各種資料を多く展示している「空挺館」では、貴重な資料を前に当時の思い出話をする姿や、空挺団の歴史や説明に熱心に耳を傾ける姿がみられた。

また、体験喫食では神奈川県出身の隊員と食事をしながら意見交換を行った。隊員の自己紹介で、「自分は武相高校出身です。県人だけでなく、武相会などもあります」との紹介を聞き、先輩後輩の絆の強さに研修者は終始感心した様子であった。

横浜出張所は、「今後も、部外協力団体等の部隊研修支援を継続的に実施することで、自衛隊の活動に対する理解の促進に努めていきたい」としている。

案内所前看板の改善

～シンプルかつ目につきやすいデザインに～



修正前の看板

（文字が細かく分かりにくい）

シンプルに事務所の存在をアピール

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、10月29日（木）、案内所前の看板を改善した。

本件は、案内所の所在を通行人に更にアピールすることに重点をおき実施したものである。

現在、厚木募集案内所は、ビルの3階に所在していることや、間口が狭いことなどから度々存在が分かりにくいと指摘を受け、1階入口の置き型看板を常に意識し、最新のイベント情報や募集情報を毎月更新するよう努めてきた。しかし、看板が志願者情報獲得には直結せず、志願者が来所する際も目印としての役割もやや貧弱であった。そこで今まで力を入れていた細かい情報提供から、案内所の存在を強くアピールでき、印象付けられる看板に改善した。これにより事務所の認知度が更に上がることに期待している。

厚木募集案内所は、「より分かりやすく、入りやすい環境を目指してあらゆる工夫を凝らして募集成果に結びつくよう努力していく」としている。